

# 令和5年度「野菜の日(8月31日)」 Webシンポジウム



## ～「漬物」から野菜の消費拡大を考える～

**参加無料**

事前登録制・先着順

**2023年8月31日(木) 14:00-16:00**

8月31日は、野菜「8(ヤ)3(サ)1(イ)」の日です。野菜は豊富な栄養素が含まれ、ビタミン、ミネラル、食物繊維等の重要な供給源ですが、1人1日当たりの野菜摂取量の平均値は280g程度となっており、目標値の350gに届いていません。

今年の野菜の日は、野菜の消費拡大に向けて、本年ユネスコ無形文化遺産登録10周年を迎える「和食」の一つである「漬物」に注目し、最新データに基づいた漬物の特徴等について基調講演を行うとともに、時代にマッチした漬物の生産や、食生活の中での新たな取り入れ方等について、多様な方々と意見交換し理解を深めるためのWebシンポジウムを開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

### プログラム

(敬称略)

#### ▼ 基調講演

「つけもの—その魅力と健康力—」

・宮尾 茂雄 (東京家政大学大学院 客員教授)

#### ▼ パネルディスカッション

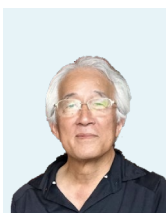
「野菜の日に、  
あらためて「漬物」から野菜の消費拡大を考える」

(50音順)

- ・秋本 薫 (株アキモ 代表取締役社長)
  - ・上大田 光成 ((独)農畜産業振興機構 理事)
  - ・竹内 富貴子 (株カロニック・ダイエット・スタジオ 主宰)
  - ・遠山 昌子 (赤城フーズ(株) 代表取締役社長)
  - ・宮尾 茂雄 (東京家政大学大学院 客員教授)
- (モデレーター)
- ・宇井 伸一 (農林水産省 農産局 園芸流通加工対策室長)

### 登壇者プロフィール

(敬称略)



#### ▶ 宮尾 茂雄 (東京家政大学大学院 客員教授)

四川大学客員教授。農学博士。名誉フードスペシャリスト。専門分野は伝統食品、特に漬物の発酵、品質保持、食品衛生に関して微生物学の視点から研究。著書に『漬物入門』、『漬物の機能と科学』、『食品微生物学ハンドブック』、『漬けものの絵本』などがある。全国漬物検査協会会長、全日本漬物協同組合連合会顧問としても活躍中。



#### ▶ 秋本 薫 (株アキモ 代表取締役社長)

1993年社長就任。2006年(株)アキモへ社名変更。浅漬プチカップシリーズ、ハルピンきゃべつ、乳酸発酵野菜ピューレ等、浅漬けを中心とした国産野菜加工食品を展開。基礎研究(浅漬けにおける発酵の仕組み)、地域貢献活動を推進。2013年から栃木県漬物工業協同組合理事長を務める。



#### ▶ 上大田 光成 ((独)農畜産業振興機構 理事)

1987年農水省に入省。国際部、在韓国大使館、内閣府などで勤務後、内閣法制局参事官、土地改良企画課長、水産庁国際課長、中国四国農政局次長、関東森林管理局局長等を経て現職。機構においては、野菜価格の安定や野菜農業の振興に取り組むとともに、野菜生産者と実需者のマッチングに力を入れている。



#### ▶ 竹内 富貴子 (株カロニック・ダイエット・スタジオ 主宰)

女子栄養短期大学講師、(一社)ファイブ・ア・デイ協会顧問、良い食材を伝える会理事、ユークャン野菜スペシャリスト講座監修、(株)なり社 外取締役。管理栄養士。ダイエットクリエイターとして、健康管理ができる食生活、特に野菜摂取の啓蒙をすすめている。近著に『野菜のとり方早わかり』、『腎臓病の料理のコツ早わかり』、『栄養アップ!カロリーアップ!の料理アレンジ早わかり』などがある。



#### ▶ 遠山 昌子 (赤城フーズ(株) 代表取締役社長)

群馬県前橋市出身。宝塚歌劇団で男役として舞台上に立った後、2005年に赤城フーズに入社。ヒット商品となる「熱中かりかり梅」や、「梅ゼンヌ」などを企画、発売。2018年より6代目として現職。群馬の梅を応援する会「うめのわ」や、日本漬物産業同友会副会長を務めるなど、業界や地域の各団体に参加。2児の母。

▶開催方法：ZoomによるWeb開催となります。

▶参加登録方法：次のURL又は2次元バーコードから事前に参加登録をお願いいたします。

▶申込締切：8月29日(火) 17時

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousan/ryutu/230731.html>

※1 アクセス数に限りがあることから、お申込み多数の場合は申込締切前であっても参加申込みを締め切らせていただきます。

2 お申込みによって得られた個人情報は、厳重に管理し、本シンポジウムの運営のみに使用させていただきます。

